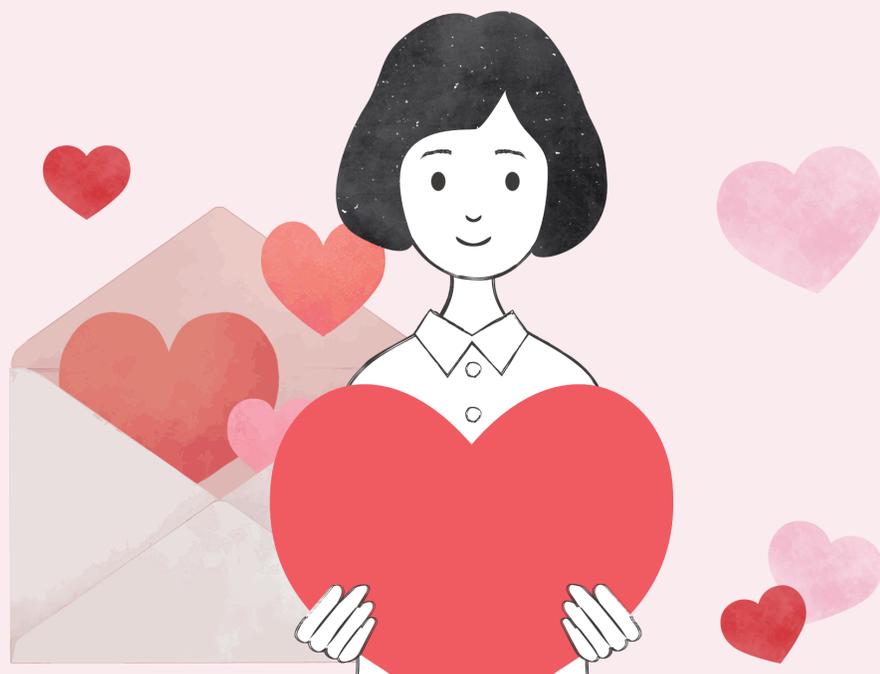


子宮頸がんは、 HPVワクチンで 予防できます。



キャッチアップ接種対象者の公費接種の期限が延長されました！

キャッチアップ接種対象者

1997年4月2日～2009年4月1日生まれの女性



キャッチアップ接種期間

無料

2025年3月31日まで

キャッチアップ接種期間終了後1年間

キャッチアップ接種期間中に1回でも接種すると、

2・3回目も無料

2026年3月31日まで

※ 期間内に一度も接種されなかった場合
2025年4月1日以降は実費負担
約4～10万円が必要になります。

HPVワクチン接種の流れ

1 病院を選ぶ

希望するHPVワクチンの接種ができる医療機関を探しましょう。予防接種を行っている医療機関がわからない場合は、市区町村のホームページを検索してみてください。

市区町村名 HPV 予防接種 医療機関 検索

2 予約を入れる

医療機関に連絡して、ワクチン接種の申し込みをしましょう。希望するワクチンの種類も必ず伝えてください。ワクチン予防接種予診表がない場合や、通知書に同封されていない場合は、病院に伝えておきましょう。

3 病院に行く

病院に着いたら受付を済ませ、注意事項を確認の上、予診表に記入し体温を測りましょう。
※母子健康手帳（13歳以上の方は、接種済証、接種記録カードでも可）と、予診表がある場合は持参してください。

4 医師の予診

医師による問診がありますので、もし他のワクチン接種の予定がある場合や、これまでワクチン接種をした後に体調に異常があった方は、必ずお伝えください。

5 ワクチン接種

ワクチンを接種します。通常は座った状態で腕の筋肉に注射しますが、横になって打つこともできますので、医師に相談してください。接種後は30分程度、病院にて座って安静にしてください。
※ワクチン接種は合計2回または3回必要ですので、次回の接種日も考えておきましょう。医師による問診がありますので、もし他のワクチン接種の予定がある場合や、これまでワクチン接種をした後に体調に異常があった方は、必ずお伝えください。

一般的な接種スケジュール

- 9価ワクチンの場合 -

1回目の接種を15歳になるまでに受ける場合



※1 1回目から5ヶ月以上あける。5か月未満である場合、3回目の接種が必要になる。

1回目の接種を15歳になってから受ける場合



※2 1回目から1ヶ月以上あける。 ※3 2回目から3ヶ月以上あける。

定期接種対象者

2024年度に小学6年生～高校1年生相当の女性
(2008年4月2日～2013年4月1日生まれ)

定期接種(無料)の期間は、
高校1年生の3月31日までです。

高校1年生の9月までに1回目の接種を済ませることをおすすめします。

